1. 日時 平成 30 年 3 月 19 日(月) 15:00~17:00

2. 議事

- (1) 平成29年度の試行を踏まえた中間とりまとめと今後の方向性について
- (2) 話題提供

3. 議事概要

- (1) 平成29年度の試行を踏まえた中間とりまとめと今後の方向性について 事務局より説明を行った後に頂いた委員からの意見は以下のとおり。
 - 1) 試行に関する基本方針

委員からは、地域ルートを含めた検討を進める必要性や様々なサイクリスト(ロングライド、初心者含む)を対象とすべきであること。また、基幹ルートから離れた自治体にも地域ルートが設定できるようイメージ図を修正すべきである旨、意見を頂いた。

2) 受入環境の充実に向けた試行の検証内容

委員からは、道の駅や民間施設等と連携した休憩施設の充実の重要性、 天候・体調・自転車故障等の緊急時支援にも資する輪行等の移動のサポートの重要性、マップ・動画等によるルート案内・周知等、今後取り組むべき内容について意見を頂いた。

- 3) 自転車走行環境の改善に向けた試行の検証内容 委員からは、路面表示(矢羽根)について、メリハリをつけながら増加 を検討すべきである旨、意見を頂いた。加えて、トンネル内の安全対策の 必要性についても意見を頂いた。
- 4) 情報提供・サイクリストとのコミュニケーション方策の試行の検証内容 委員からは、コミュニケーションサイトの評価・ロコミへの投稿が増え るようなPRの実施について意見を頂いた。
- 5) 持続的取組を進めるための体制・役割分担の取組み内容 委員からは、自治体と連携した取組を進める必要性や継続的な基礎デー タ収集の必要性について意見を頂いた。

(2) 話題提供

関係機関より、北海道自転車条例や、北海道における新たな鉄道旅行需要の創出について話題提供を行った。